

# 雨ニモマケズ

明るくたくましく、心豊かな人間の育成をめざし、心身ともに調和のとれた生徒を育てる

根づよい人間(やりとげる)

基礎基本を重んじ、確かな  
学力を身につける生徒

創造的な人間(考える)

自己の存在に自信をもち、  
真理を追究する生徒

心豊かな人間(感動する)

心身ともに健康で、  
感動する心をもつ生徒

校訓「雨ニモマケズ」。その詩の中で宮沢賢治が「サウイフモノ」を思い描いたように、生徒が自分のなりたい人間像を見据えて学校生活を送ることができるよう、全教職員が連携して支援・指導に努める

「雨ニモマケズ」が昭和40年に教育目標として定められ、61年がたちました。  
宮沢賢治は「雨ニモマケズ」の最後を「サウイフモノニ ワタシハナリタイ」と締めくくります。  
賢治がめざした「サウイフモノ」は、時代の背景や地域性が大きく影響しています。  
生徒たちが、これからの社会を生き抜くために、自分自身の「サウイフモノ」を常に考え、その実現に向けて努力していくことができるような人間に育つように支援する学校でありたいと考えています。



合言葉は、「生徒が創る羽田中」

生徒に『まほう』をかける

## まかせる(自己決定)

(1) いのちを見つめる確かな目を育て、安全な学校、安心して楽しい学校づくり

- 学校保健委員会を中心に、電子メディアとのつきあい方やルールを考えさせる
- 避難訓練、自転車安全教室などで危機回避能力を高める
- アレルギー、熱中症、けがへの危機意識を高める。
- 豊橋・学校いのちの日の大切さを伝え続ける

(2) 個性を生かし、創造性を伸ばし、わかる喜びや楽しさ、成就感や満足感が得られる支援

- 「サウイフモノ」をみざすために生き方教育(総合・道徳・特活等)を推進する
- 「生徒が創る授業」を合言葉に、生徒と教師が一体となって授業に取り組む
- 少人数指導、TTなどの指導体制や指導方法を改善し、活気のある授業を構築する
- 知的好奇心を湧き起こす教材を提示し、ICT機器を活用する
- 実行委員形式で「学校行事」「体験活動」などを企画運営させる

(5) 働き方改革の推進

- タイムマネジメントの意識高揚を図る
- 協働性、同僚性を大切にする ・教職員のウェルビーイングの向上を図る

## ほめる(自己有用感)

(3) 互いの立場を理解し、温かな気持ちでふれ合うことができる学校

- 学級、部活動、委員会など、生徒の居場所づくりを行う
- 道徳の授業や読書の時間を大切に、心の教育を進める
- 教師間、SCとの連携支援方法の共有を行い、全校体制で取り組む
- アンケート、生活日記を活用し、生徒の心を把握する機会を増やす
- 面談週間における生徒との話し合いを大切にする
- Hyper-QUの結果を学級経営に活かす
- 「SST」の研修を教職員に行い、スキルアップを図る

(4) 人間教師としての教職員の力量向上

- 一人一人の生徒と「人」として接する
- 人間教師として生徒と向き合う
- 教師の人生観、思いを伝える
- 生徒指導の機能を活かした授業
- 教師自身の「サウイフモノ」をもつ
- 保護者、地域を大事にする姿勢をもつ

## うけとめる(共感的人間関係)

小学校・校区との連携

- 小学校 牟呂用水浄化活動
- 小学校 生活活動体験
- 校区行事に小学生を招待
- 校区生活サポート委員会
- 羽田中学校教育委員会
- 羽田中学校教育研究会
- 羽田中学校評議会

継続している活動1

牟呂用水浄化活動

校区を流れる牟呂用水を、1年生が、花田小・羽根井小の児童と一緒に清掃して、校区を大切にしている活動を実践する

継続している活動2

校区清掃活動

校区への愛着心や、感謝の気持ちを持ち、自分たちができる地域貢献として2、3年生が実践している。地域にある施設や公園へ学級ごとに分担して清掃

継続している活動3

小中一貫への取り組み

合唱コンクールの見学や部活動体験を行い、小学生の中学校入学に対する不安解消に努める